



岡島 剛 議員
OKAJIMA Tsuyoshi

町長はタウンミーティングの前に、対話集会を行うとした。公約が実行されるのか疑問である。

町長公約の実行に疑問

Q タウンミーティングをいつ、どのような方法で開催するのか。

A 町民の皆さまと直接対話し、意見や要望をより丁寧に聞くため、まずは町長との対話集会という形式で進める。そこでいただいた意見や要望を整理し、テーマを定めてタウンミーティングにつなげたい。

Q 町長が今まで示してきた政策や公約について、考え方や方向性に変更が生じる場合、その経緯や理由を町民や議会に説明するべきではないか。

A 当初の方針に変更が生じる場合は、町民や議会に丁寧に説明する責任がある。

特に大きな転換時や重要な施策の方向転換は、結果を示すだけでなく、どのような判断で方針を変更したのか、

その背景にある情報や理由を、できるだけ分かりやすく説明する。

Q 事業費、財源、補助制度、施設の老朽化など、当初の判断となった条件に変化が生じた時は、臨空第2公園と中学校の優先順位を検討する必要があるが、町長の考えは。

A 当初の判断の前提となった状況に変化が生じた場合には、一度立ち止まり、事業実施の可否や優先順位などについて再度検討を行う。

その際、社会情勢や町の施策の方向性、町民ニーズや財政状況などを総合的に考慮し、実施の可否や優先順位について判断する。



災害対策は



大口 司郎 議員
OGUCHI Shiro

洪水対策と災害時の給水対応について、令和6年、7年の質問のその後をお尋ねする。

Q 久田良木川排水機場の進捗状況はどうか。

A 排水機場増強工事の完了は令和12年度末になる予定。増強後は、10年に1回程度発生する降雨で、床上浸水を解消できると予測している。

Q 排水機場の供用開始までの空白期間、北部市場への避難は安全であるか。

A 浸水深の検証では、北部市場の北側と東側において、約50センチ程度から、深い箇所では約1メートル程度の浸水が想定される。躊躇なく警戒レベルなどの情報を発信していくなど周知啓発に努める。

Q 旧耐震基準で設置された公共施設の受水槽について改修する計画は

あるのか。

A 受水槽のみを対象とした改修計画はない。施設を所管する部局に積極的に働きかけていく。

Q 町長は、非常用飲料水の確保について、どのように考えているのか。

A 公共施設の受水槽が、非常用飲料水の確保に極めて有効であると考えている。他の防災施策との優先順位などを見極めながら、最適なタイミングで適切に対応する。

小学校体育館の空調工事は

Q 小学校の体育館への冷房装置の設置計画は。3校同時が良いと考えるが。

A 令和9年度に3校同時に設置する方向で、検討を進める。

